

学校だより

みなみの風



令和5年9月号(9月12日発行)

まじめに げんきに ほがらかに
《にこにこ・はきはき・きびきびした南の子》

児童数 373名 TEL 253-5304

～子供一人一人が輝き 笑顔あふれる 充実した2学期に！～

校長 高味修一郎

子供たちの笑顔と歓声が学校にもどり、南小の2学期が元気にスタートしました。

今年の夏は全国的に猛暑が続き、特に、7月下旬以降は38度以上の危険な暑さも相次いで観測されました。また、東日本や西日本の太平洋側では発達した雨雲が次々と流れ込む線状降水帯が発生し、土砂災害や川の氾濫も発生しました。

本校では、保護者や地域の方々が、子供たちの見守り・声かけ、地域行事や体験活動、交通事故・水難事故などに配慮してくださったおかげで、命に関わる事故やけがもなく、スムーズに2学期を迎えることができました。このことは、子供たちの自覚に併せて、保護者や地域の方々の御協力の賜物と職員一同感謝しております。2学期は、運動会や陸上記録会、なかよし音楽会などの行事や、地域が育む「かごしまの教育」県民週間における学校自由参観などが計画されています。引き続きの御理解・御支援をお願いいたします。

さて、9月7日午前8時42分11秒に、種子島宇宙センターから探査機と衛星の2つが搭載された「H2A47号機」が打ち上げられました。失敗を糧に対策を講じ成功した今回の打ち上げは、宇宙開発の再開に大きな期待がかかります。

宇宙飛行士の野口聡一さんは、「閉じられた宇宙ステーションの人間関係で仲間とのチーム力を高めていかなければ、生死に関わる危険性を抱えながら何日間も生活することになる」と語っています。学校生活も、「目標の共有」と「チームワーク」で仲間と共に「挑戦」することが大切です。始業式で子供たちに「挑戦する2学期に！」とメッセージをおくりました。授業や行事、様々な場面で、子供たち相互、また、教職員と子供たちとのかかわり合いを大切にして、子供たち一人一人が安心してトライ&エラーできる教育活動を推進します。



【10月・11月の主な行事予定】

【10月】

- 8日(日) あいご運動会〔午前中までの開催予定〕
- 14日(土) 土曜授業日(集団下校はありません)
- 17日(火) 運動会予行練習
- 22日(日) 第67回運動会〔23日(月)／運動会振替〕
- 28日(土) 燃ゆる感動かごしま大会開会式参加(6年生)

〔30日(月)／6年生振替休日〕

【11月】

- 1日(水)・2日(木)・6日(月)・7日(火) 「県民週間」自由参観日
※参観が可能な時間帯は2～4校時です。〔9:35～12:15〕
- 8日(水) 市小学校陸上記録会(6年生)
- 11日(土) 土曜授業日(集団下校はありません)
- 16日(木) 就学時健康診断〔全学年午前授業で、給食を食べて帰ります〕

学校行事や教育活動については、現在のところ予定通りを考えていますが、直前であっても内容を変更して実施する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

毎日少しずつの積み上げを大切に!!

4月18日に、全国の小学6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の集計が終了し、その結果が公表されました。本校分の結果と、今後の対策についてお知らせします。

【国語】

全体の正答率は鹿児島市・全国ともに上回っていますが、「自分の考えが伝わるように、書き表し方を工夫する」「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめて書く」の2つの問題で、正答率が良くありませんでした。限られた時間の中で、図表やグラフなどからキーワードとなる語句や文を読み取ったり、適切な語句を用いて自分なりの表現でうまくまとめきれなかったりしたのではないかと考えられます。今後は「読書の質の向上」にも力を入れ、じっくりと読み深めていく習慣をつけさせるとともに、日頃からの日記や小作文の活動の中で、多くの言葉にふれることで語彙力・表現力を高めていく学習活動にも取り組んでいきます。

【算数】

「変化と関係」の領域では、全国の平均正答率を大きく上回りましたが、「図形」領域のいろいろな図形の意味や性質を理解しているかを問う問題の正答率が良くありませんでした。また、「 $66 \div 3$ 」の計算の手順を説明する問題で、計算の流れに沿ってその意味を考えることができいていませんでした。図形の性質に基づいていろいろな図形を描いたり、計算のきまりにしたがって筆算をしたりはふだんからできていますが、今回は設問の意図を把握しきれずに、見当違いをしたのではないかと考えられます。基礎的・基本的な学習内容は身につけていますので、それらをどのように論理的な思考につなげていくか、演習形式の学習も取り入れながら考え方を深めさせていきます。

【全体的に】

国語・算数ともに、鹿児島市並びに全国の平均正答率を上回っていて、日頃からの少しずつの積み上げの成果が出てきたのではないかと思います。例年ですが、問題の形式が普段と違うことで、設問の意図を把握しきれなかったり、考え込んでしまい時間が足りなかったりする傾向があるようなので、基礎的・基本的な学習内容の定着はもちろんですが、演習形式で応用問題にも取り組ませていきたいです。

なお、児童質問紙の回答を観ると、「自分には、よいところがあると思いますか」「将来の夢や目標をもっていますか」「人の役に立つ人間になりたいですか」「学校に行くのは楽しいですか」「友だち関係に満足していますか」といった項目について、全国よりも高くなっており、学力を支える基盤となっていることが分かります。

